

スピリチュアリティとエネルギーケアの理解を深めよう！ スピエネット連続フォーラム'15～'16

エネルギー療法最前線 エネルギーヒーリングの原点

スピエネット連続フォーラム 2015～'16 は、『バイブレーション・メディスン』や『ザ・リヴィング・マトリックス』で学んできたエネルギーや情報が、どのように療法として実践されているかを探求していきます。数あるエネルギー療法から、明確な理念と理論に基づいて臨床現場でも広く実践されているハンズオン技法を中心としたエネルギー療法を選択しました。それぞれのエネルギー療法の考え方、そして、手技を学びます。

★13:30～14:30 『秘教治療』アリス・ベイラー：魂から導かれる手技」神尾学（ホリスティックヘルスケア研究所所長）

未だ人類はその全貌を理解していないエネルギーの世界。宇宙から地上の生命体、さらには原子に至るまで、エネルギーの矛盾ないシステムで成り立っているという秘教の教え。人類が目指すべく癒しとは何か。多くの著名なヒーラーやエネルギーヒーリングがその基礎におく秘教治療の概念とその実技を紹介します。

★14:40～15:40 「エネルギーヒーリングのバイブル ”光の手”：バーバラ・ブレナンを学ぶ」

松田桂果（バーバラ・ブレナンヒーリングスクール元講師）

元NASAの宇宙物理学者にして、クエアボイアントであるバーバラ・ブレナン。多くの人には見えない人のエネルギー体と、癒しの実践について初めて詳細に著したベストセラー“光の手”、そして、“癒しの光”は、今やエネルギー療法の入門書となっています。バーバラ・ブレナンのヒーリングの理念、理論、そして、そのテクニックを紹介します。

★15:50～16:45 スピエネット対話＜ダイアログ＞

松田桂果 × 神尾学

秘教治療とバーバラ・ブレナンが説く、それぞれの人のエネルギーシステムの捉え方と手技の活用法の相違・共通点を探求します。

★“スピエネット”とは、下記の団体による「スピリチュアリティ&エネルギーケアネットワーク」の略称です。



■日 時: 2015年10月3日(土) 13:30～16:45

■場 所: 連合会館 (501号室)

■参加費: 4回連続受講 会員 10,000円 一般 14,000円
 今回のみ受講会員 3,000円 一般 4,000円

* 会員とは主催、共催、協力団体の会員(ヒーリングタッチ東京はヒーリングタッチ・スチューデントが会員扱い)を指します。

■申し込み手順

1. 必要事項(1 氏名、2 住所、3 電話、4 E-mail、5 所属(①会員(団体名)・②一般)を、ho-kanto@tg.rim.or.jpへ(締切9/25(金))。* または、FAXで 03-5572-8219まで。(当日のみ携帯: 080-5484-8008)

2. 申し込み受理のお知らせ到着後 1週間以内にお振込み下さい。三菱東京UFJ銀行 新宿支店(普通)0057567 特定非営利活動法人日本ホリスティック医学協会

3. お振込み後、受付完了となります。お振込後の参加費はご返却できませんので代理受講でご対応をお願い致します。

<主催> NPO 法人日本ホリスティック医学協会関東フォーラム委員会 (生活習慣病予防指導士3単位)

<共催> NPO 法人日本スピリチュアルケアワーカー協会、ヒーリングタッチ東京

<協力> 日本アントロポソフィー医学のための医師会、NPO 法人サイモン療法協会、日本トランスパーソナル学会

＜スピエネット連続フォーラムの日時・内容＞
全4回：主催・共催・協力団体の会員 10,000 円、一般 14,000 円
各回：主催・共催・協力団体の会員 3,000 円、一般 4,000 円

★フォーラムⅡ：2015年12月5日（土）13:30～16:45（会場：連合会館501号室の予定）

“クラニオセイクラル”と“ロルフィンク”～結合組織（筋膜、硬膜）に働きかける

・「“クラニオセイクラル”～頭蓋骨のリズムにアプローチ」 小笠原和葉（宇宙塾主宰）

オステオパス医であったウイリアム・サザーランドが20世紀初頭に開発したのがクラニオセイクラル・セラピー（頭蓋仙骨療法）。やさしく触れながら、頭蓋から脊椎、仙骨に流れる脳脊髄液の流れを整える技法。オステオパシーとの違い、どのようにクラニオセイクラルへと発展していったのか、その考え方、理論、手技を解説します。

・「“ロルフィンク”～重力と調和する」 藤本 靖（米国ロルフ研究所認定ロルファー）

バーバラ・ブレナンの師でもあるロザリン・ブリエールが行ったチャクラの存在を検証する実験は、ロルフィンクによる影響を計測するものでした。筋膜に働きかけることにより、筋膜と筋肉が統合的に、身体が重力と調和を保って動けるように調整することを目的とするロルフィンク。その歴史、理念、理論、その手技を解説します。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞

小笠原和葉 × 藤本靖

結合組織（筋膜、硬膜）に注目し、ホリスティックに働きかける両セラピーのエネルギー的な働きかけへの理解を深めていきます。

★フォーラムⅢ：2016年2月6日（土）13:30～16:45（会場：連合会館501号室の予定）

“レイキ”と“野口整体”～日本発エネルギー療法

・「“レイキ”～医療者&セラピストが身につけるべき素養」 市江雅芳（東北大学医学系研究科教授）

レイキは、全ての生き物に流れる根源的な生命エネルギーです。欧米のレイキ人口は600万人とも言われ、多くのセラピストがベシクなエネルギーワークとして活用しています。100年程前、レイキを誰もが習得できる形にした臼井甕男氏は、医療を補完する目的で使うよう教訓を残しました。医療との馴染みが良い、本来のレイキの魅力に迫ります。

・「“野口整体”～自らの足で立つ」 鶴飼高司（整体協会指導者・講師）

野口晴哉が提唱した、活元運動、愉気法、整体操法、体癖論、潜在意識教育からなる整体法。病を治すことではなく、裡の要求に添い自らの能力を發揮する整った体を追求する。個人の要求、感受性を知る手がかりとなる体癖論、体の本能的な力を使った愉気法とは。その考え方と手技を解説します。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞

市江雅芳 × 鶴飼高司

日本発のエネルギー療法におけるエネルギーの捉え方を理解し、欧米発のそれとの相違・共通点を見極めます。

★フォーラムⅣ：2016年4月2日（土）13:30～16:45（会場：連合会館501号室の予定）

“EFT”と“ヒーリングタッチ”～セルフケア時代のエネルギー療法

・「“EFT”～エネルギー心理療法」 溝口あゆか（Japan Meridian and Energy Therapies 代表）

90年代にアメリカの心理コーチ、ギャリー・クレイグ氏によって生み出された「感情解放のテクニック（Emotional Freedom Technique）」。解決したい問題に意識を集中させながら、主要な経絡のツボを指で軽くタッピングすることで、トラウマやネガティブな感情を解放していきます。昨年英国BBC放送でも紹介されたEFTのしくみと効果を解説いたします。

・「“ハートから行う“ヒーリングタッチ”～癒しの旅路」 戸田美紀（ヒーリングタッチ東京代表）

1980年代米国の看護師ジャネット・メンゲンが米国ホリスティック看護師協会の中で確立したエネルギーセラピー。身体や人のエネルギーシステムに手で優しく触れることで、エネルギーシステムの調和とバランスを取り戻し、自然治癒力を高めます。手技だけではないその教えは施術者、受け手両者を癒しの旅路へと導きます。その教えから読みとるヒーリングタッチの学びを紹介いたします。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞

溝口あゆか × 戸田美紀

誰でも学べてセルフケアにも適している両療法。これからのヘルスケアを視野に入れたエネルギー療法の理解を深めます。